

た報
第35号

上野東部だより

2016年12月15日
発行
東部地域住民自治協議会
総務広報部会
伊賀市緑ヶ丘本町1681-8
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX 24-3999



城東の集い
バザー



人権視察
研修会
(京都)

人と人とのつながりをめざして “人権が守られ、住みよいまちづくりを”



崇広中
ヒューマン
フェスタ



東小
人権
コンサート

城東の集いバザー (城東中学校)

9月22日、秋分の日に城東中学校多目的ホールに於いて、城東の集いバザーが開催されました。

城東の集いのメンバーがこの会を盛り上げようと話し合い企画されました。先生、生徒等がつくったキーホルダー、フラワー、地域の方が育てた野菜、父兄から寄贈された衣類、食器等が販売され収益金は、熊本地震の被災者へ寄付されました。また、熊本地震の被災者に元気づけようとメッセージの寄せ書きを参加された人を書いてもらい贈られました。

「京都洛西」人権の歴史を訪ねて

9月26日(月)、東部地域住民自治協議会人権啓発部会、人権啓発草の根運動主催で視察研修会が広隆寺(朝鮮半島ゆかりの弥勒菩薩)と龍安寺(石庭で有名)で世

界人権問題研究センターのボランティアガイドさんの案内で24名が参加して開催されました。

ヒューマンフェスタ (崇広中学校)

11月12日(土)、崇広中校区地域ぐるみのヒューマンフェスタが開催されました。体育館でのステージ発表、飲食販売ブース、吹奏学部の演奏、人権啓発パネルの展示等があり、小春日和のよい天候に恵まれて、おおぜいの人でにぎわいました。

東小人権コンサート (東小学校)

11月19日(土)東小体育館で、日本中を元気にするため、放浪の旅をしている合唱作曲家、弓削田(ゆげた)健介さんの人権コンサート(テーマ:いのちと夢と人権のうた)が開催されました。

(取材：縄手 稔)

災害発生時の避難所体験



10月16日(日) 9時から上野東小学校体育館にて東部地域住民自治協議会(防災防犯交通安全部会)主催で「第9回東部地域住民自治協議会防災訓練」が16町から218名参加して実施されました。

今回は初めて避難所体験訓練を学びました。防災訓練の内容は、段ボールベッドの組立、段ボール箱とビニール袋で簡易トイレ作り、新聞紙でスリッパ作り、等を消防団員の指導を受けて作りました。極めつけは危機管理課の職員と伊賀市で初めて「避難所間仕切り」の組立を行い、6畳間・10部屋の避難所間仕切りを完成させました。



久保 中消防署長



竹島 防災防犯交通安全部会長



服部 東部地域住民自治協議会会長



① 8時50分伊賀地方を震源とする、震度6強の地震が発生。(訓練想定)



② 9時～9時30分、家具の倒壊、火災の発生が危惧される中、要援護者の避難救助活動を行い、東小体育館へ避難。



③ 9時50分～10時10分市災害対策本部から、施設安全報告を受け、施設管理者の東小校長が体育館の開錠、避難所開設、避難者の受け入れを開始。

体育館へ避難者が入場。



④ 避難者は各自治会に割り当てられた場所に誘導。



⑤ 10時10分～10時30分、避難所運営委員会を立ち上げて運営の体制づくりを開始。



⑥ 避難所での情報掲示。

- ・避難所運営体制
- ・避難所状況報告
- ・避難所でのルール等。

2016 自主防災訓練



救出訓練（簡易タンカ作り）

「タンカにのるのは気持ちがよいので」と言って何回も参加していた。
（6才の男の子）



ダンボールベッド作り

「広々とゆったりして、家の寝室のベッドよりいいわ。」
（50才代の男性と女性）
「重い人は、つぶれるかもね。いえいえ、相撲取りでも大丈夫です。」
（60才代の男性と女性）



ダンボールの間仕切り作り

「一人一人の人権を守り、安全安心の最高の居場所ですね。」
（40才代の女性）



救護訓練（心肺蘇生・AED）

今回真新しい「心臓マッサージ」（AED）を発見、小さな箱の中央にハート（心臓）形のシリコンに両手を重ねて1分間に100回力強く押します。（1回ごとに音がでる）
「親子で語り合いながら楽しいです。」
（小学生の女の子）



新聞紙スリッパ作り

「簡単にすぐできていいですね。」
（60才代の男性）



いつもはアルファ米でしたが、今回はかまどで炊いたごはんを試食できました。

岡本市長のコメント

「たくさんの方にお集まりいただきありがとうございます。自分たちの町は自分たちで創る、安全安心は、自分たちが創っていかなければならない、日頃からの地域の方との付き合いがいざという時の共助になります。行政も車の両輪のように頑張ります。」

（取材：鷹森 由紀子 写真：縄手 稔）

避難所マニュアルについて

今年にはいつて熊本地震、鳥取地震と大きな地震が続いており、伊賀市においても過去安政の直下型地震が起こっており、将来南海トラフ地震も予想され、想定外の被害が発生する可能性があります。東部地域住民自治協議会では、今年4月に「避難所マニュアル」を作成して想定外の事態にも対応できるように今年度から避難所運営に特化した避難所体験訓練を実施しました。

災害が大規模になれば、市内全域になるためこの状況から生き延びるためには、自らもしくは地域の力により回避するしかありません。避難所マニュアルの重要なところを今後数回にわたって掲載する予定です。掲載内容に目を通していただくとともに住民の一人一人が自助・共助がいかに大切であるか再認識し「住むまちを地域で守る」という防災意識の高まる事を願っております。

今回は、各自治会別災害時の避難場所について掲載します。災害が発生した時に避難する一時立寄所・市指定避難所を各自が覚えておき、いざという時に行動してください。

自治会名	市指定避難場所		一時立寄所(自主防災組織指定)	
上野車坂町	上野東小学校	旧上野商業高校	白鷗青年文化会館	みどり保育園北駐車場
上野田端町	上野東小学校	白鳳幼稚園	上野田端町児童運動場	
上野伊予町	上野東小学校	白鳳幼稚園	コミュニティ広場伊予町	
上野玄蕃町	上野西小学校	桃青の丘幼稚園	近くの空き地・駐車場	滝井医院前駐車場
上野赤坂町	上野西小学校		アライブ駐車場(竹島)	三田清駐車場
上野農人町	桃青の丘幼稚園	上野西小学校	まちやガーデン・岸田・岸・富島・佐竹・服部・吉岡・菅野・もりつじ各駐車場	
上野寺町	白鳳幼稚園		松下・妙典寺各駐車場・かしのき広場	
城北	桃青の丘幼稚園	上野西小学校	桃青の丘幼稚園	フレックスホテル
北平野	桃青の丘幼稚園	上野西小学校	北平野公民館	さくら公園
服部団地	桃青の丘幼稚園	城東中学校	服部団地集会場	上野西小学校
緑ヶ丘東町	上野東小学校		緑ヶ丘東町公民館	旧上野商業高校
緑ヶ丘本町	上野東小学校 伊賀白鳳高校	緑ヶ丘中学校 みどり第2保育園	緑ヶ丘中学校 みどり第2保育園	伊賀白鳳高校・上野東部公民館 緑ヶ丘本町公民館
緑ヶ丘中町	上野東小学校	緑ヶ丘中学校	緑ヶ丘中町集議所	月見荘西公園用地 古川税理士事務所駐車場
緑ヶ丘西町	伊賀白鳳高校	緑ヶ丘中学校	緑ヶ丘西町公民館	
緑ヶ丘南町第一	伊賀白鳳高校	緑ヶ丘中学校	森本医院前駐車場	七つ池広場
緑ヶ丘南町第二	上野東小学校 伊賀白鳳高校	緑ヶ丘中学校	オークワ駐車場	LXILE西側公園

消防団 活動だより



一斉放水

上野中分団夏期訓練

平成28年8月7日 午前8時～11時

1年中でも最も暑い時期、8月7日(日) 午前8時～11時上野西小学校グラウンドにおいて、各住民自治協議会と合同で上野中分団夏期訓練が実施されました。

今回の訓練では、日頃の地域の防災訓練ではなかなか体験できない、チェーンソーを使っての家の下敷きになった人の救出、放水体験、新聞紙での防災ズキンの作製がありました。又訓練の最後には、消防団による一斉放水があり、みごとなホースさばきを見ることができました。

「大切な人、大切な自分の町を守るのはあなたです。」一緒に楽しく、地域防災のために消防団に入団して頂ける方を心よりお待ちしております。

東部公民館 ☎0595-24-3999



開始報告



各住民自治協議会と合同で訓練



煙道体験



チェーンソーを使用しての家の下敷きになった人の救出訓練

新聞紙での
防災ズキンの
作製



放水体験

(寄稿：上野中分団第三部部长 本村 聖治)

『げんきカフェ』で笑顔が一杯

げんきカフェの歌（青い山脈の替え歌）をみんなで歌い、「ふれあい・いきいきサロン事業 げんきカフェ」が始まりました。

当自治会は高齢化が進み、一人或いは夫婦でお住まいの高齢者の方には出かけることが少なくなり、家にこもりがちになります。そこで、出かける機会を増やし、仲間作りや元気で規則正しい生活を送ってもらおうと、平成26年7月から70歳以上の方を対象に毎月第1木曜日に第二自治会公民館で「げんきカフェ」を開催しています。

「げんきカフェ」の歌を歌ったあとは、介護予防や熱中症予防の講演会、大正琴等の演奏会、敬老お楽しみ会での食事会とスタッフによる寸劇など、民生児童委員のご協力のもと毎回内容を工夫しています、



バスでお出かけ！楽しみ

また、気候がよい時期にはバスに乗り大内ドライブインまで出かけ、美味しい食事に舌鼓をうち観光気分を味わってもらっています。久しぶりのバス旅行に感激する方もおられ、年々参加者が増えていきます。



子どもたちと一緒に

そして、毎年2月には児童福祉会とともに世代間交流事業として歌やゲームなどをして、孫のような子どもたちと楽しく過ごしています。

「ほんわかカフェ」も

この「げんきカフェ」に加え平成27年10月からは、毎月第3木曜日に「ほんわかカフェ」を開き、おしゃべり、将棋・囲碁、編物、映画鑑賞など自分の好きなことをしながら、笑い声とともに時間を過ごしています。

今では女性の方の笑顔だけでなく、男性の方の笑顔も増えてきています。人との出会いが生活に変化をもたらせ、さらに町で会えば挨拶を交わすなど、人の輪を大きくすることで顔見知りが増え、ひいては高齢者の見守り支援に繋がっていくものと思っています。

（寄稿：緑ヶ丘南町第二自治会長 池澤 拓雄、K・S）



今日も元気に又逢える 笑顔で集う五十路の仲間

「チャリティ 五十路 10周年 感謝歌まつり開催」



▲横尾 芳郎さん



▲五十路カラオケホール

毎年1回市内のホールでカラオケイベントを開いてきましたが「10年の節目は大きなホールでと計画し、11月6日（日）伊賀市文化会館さまざまホールで「チャリティ五十路10周年感謝歌まつり」を開催しました。この日は9時45分開演で日頃の利用者の他、ゲストに真木柚布子さんと池田輝郎さんを招き、協力金は熊本地震の被災地や伊賀市社会福祉協議会に送られました。

横尾さんは、「日頃の感謝の気持ちでイベントを企画した、コミュニティホールは自分のものではなくみんなのもの、毎日毎日を大切に生き、感謝しながら一人でも多くの方が誰かに逢って笑って歌って楽しく過ごせる手伝いができるよう頑張っていきたいと」と話してくれました。

コミュニティホール “五十路”

主宰 横尾芳郎

上野伊予町（白鳳幼稚園南） TEL：21-0062

*利用時間は、9時～21時、定休日は毎月曜日

民生委員児童委員を努めて18年、昨年10月全国社会福祉協議会会長賞に輝いた上野伊予町の横尾芳郎さんが10年前に立ち上げたコミュニティホール「五十路」を訪れました。

「誰もが趣味を生かして余生を楽しみ、人と人が触れ会える場をつくろう」との思いで、カラオケも備えて気軽にくつろげる私設のコミュニティホールを立ち上げました。丁度訪問した日は、毎日こられるというみなさんがカラオケに興じていました。

このコミュニティホールの利用客は、月間約400名、10年間で約5万人の方々が利用され、近所だけではなく、滋賀県甲賀、京都南山城、亀山、名張からこられるとのこと。利用客が多いので、3年前に少グループ向けのカラオケ第2ホールを建設したとのこと。開設してよかったことは、このように多くの人と巡り会えたこと、しかし時間のやりくりに追われる苦労もありましたが、生きがいにつながったと話してくれました。



▲伊賀市社会福祉協議会へ協力金寄付



▲チャリティ 歌まつり

（取材：縄手 稔）

地区市民センターの改修工事始まる

東部地域住民自治協議会プロジェクトチームと上野支所振興課、建設住宅課と地区市民センター改修について交渉を進めてまいりましたが、各部屋のレイアウト、附帯設備、備品等について合意し、工事業者も決定し10月に工事が開始され、平成29年2月工事完了、3月移転、4月運用開始に向けて順調に進んでおります。

移転する地区市民センターは、現状の3倍の面積、エレベーター設置、駐車場完備等されており、地域住民の方々が各種サークル活動、イベントの開催、会議等開催、また超高齢化社会時代への対応、災害発生時への対応に十分活用できるスペースを確保されており、安全、安心して生活ができ、住民同士が楽しく集える場として活用されることと期待をしております。



▲緑ヶ丘東町に改修中の地区市民センター



▲新しく移転した消防署

ホットコーナー

”4年の成長”



編集後記

2016年も残すところ、後わずかとなりました。今年を振り返ってみるといろいろな出来事がありました。

中でも熊本県では、4月の地震に始まり夏は水害、そして阿蘇山の噴火と自然災害が続いた1年でした。また、10月には鳥取県で大きな地震があり、私達も地震の備えをしっかりと行わなければと、改めて強く感じました。

8月11日には、山の日が施行され、8月の祝日は初め

てで、年間の祝日は16日に増えました。

そして、リオデジャネイロで行われたオリンピックでは、史上初41個のメダルを獲得し、何事にも諦めない姿に感動の連続でした。4年後の東京オリンピックが今からとても楽しみです。是非、生で観戦してみたいと思っております。

今年も東部だよりを読んでいただきありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。

(坪井 美香)